

# 平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 TRUCK - ONE  
 コード番号 3047 URL <http://www.truck-one.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 雄也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 真崎 高利  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 平成30年9月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福

TEL 0833-44-1100

平成30年9月3日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	2,090	3.6	10	38.6	22	20.8	12	31.8
29年12月期第2四半期	2,169	15.9	16	32.0	28	9.5	18	13.0

(注)包括利益 30年12月期第2四半期 9百万円 ( %) 29年12月期第2四半期 19百万円 (38.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	5.27	
29年12月期第2四半期	7.74	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	3,407	633	18.6	264.28
29年12月期	3,152	630	20.0	262.81

(参考)自己資本 30年12月期第2四半期 633百万円 29年12月期 630百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		2.50		2.50	5.00
30年12月期		2.50			
30年12月期(予想)				2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,169	5.2	55	8.5	50	27.9	39	7.9	16.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	2,552,000 株	29年12月期	2,552,000 株
期末自己株式数	30年12月期2Q	153,100 株	29年12月期	153,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	2,398,900 株	29年12月期2Q	2,398,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済環境は、海外経済の回復及び日銀の各種政策を背景に、企業収益や雇用情勢の改善が続く、緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方、米中貿易摩擦問題などの海外要因による景気の下振れリスクが懸念され、先行きが不透明な状態が続いております。このような状況の下、当社グループの主力事業である商用車関連事業は、高年式車両の販売が引き続き好調であること及び車両整備における原価低減を推進し、損益面に関しましては、前年同期を大幅に上回る結果となりました。

運送関連事業につきましては、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が行っており、車両代替に伴う減価償却費の増加・車両修繕費の増加及び燃料費の高止まりによる影響を受け、前年同期を下回ることとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績としては、売上高2,090,866千円（前年同期比3.6%減）、営業利益10,037千円（前年同期比38.6%減）、経常利益22,184千円（前年同期比20.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12,651千円（前年同期比31.8%減）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

#### ①商用車関連事業

事業用車両の販売量はほぼ横這いで推移し、商用車関連事業の売上高は1,725,527千円（前年同期比2.5%減）、また、車両整備に係るコスト削減に努めたことによりセグメント利益は13,092千円（前年同期比154.3%増）となりました。

#### ②運送関連事業

取引先の見直しを進めたこと及び原油高による燃料の高騰の影響を受けたことにより、運送関連事業の売上高は365,338千円（前年同期比8.7%減）、セグメント損失は6,207千円（前年同期はセグメント利益11,254千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は3,407,953千円となり、前連結会計年度末に比べ255,364千円の増加となりました。このうち流動資産は210,008千円増加して2,340,682千円となりました。主な要因は受取手形及び売掛金が83,213千円、商品及び製品が145,560千円増加したことによるものです。また固定資産は45,356千円増加して1,067,271千円となりました。主な要因は有形固定資産が45,962千円増加したことによるものです。

負債合計は2,773,983千円となり、前連結会計年度末に比べ251,842千円の増加となりました。このうち流動負債は247,061千円増加して2,581,189千円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が148,211千円、短期借入金が48,000千円増加したことによるものです。また固定負債は4,781千円増加して192,793千円となりました。主な要因はリース債務が11,639千円増加し、退職給付に係る負債が4,463千円減少したことによるものです。

純資産合計は633,970千円となり、前連結会計年度末に比べ3,522千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が6,629千円増加し、その他有価証券評価差額金が3,107千円減少したことによるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ26,048千円減少し、290,841千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は27,223千円(前年同期は82,163千円の資金増加)となりました。主な要因は、減価償却費65,998千円の計上、仕入債務148,211千円の増加による資金の増加及びたな卸資産154,788千円の増加による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は60,997千円(前年同期は44,132千円の資金減少)となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出61,822千円による資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は7,726千円(前年同期は103,095千円の資金増加)となりました。主な要因は、短期借入金48,000千円の増加による資金の増加と、長期借入金の返済による支出11,674千円及びリース債務の返済による支出21,197千円の資金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、平成30年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	348,914	322,866
受取手形及び売掛金	230,428	313,641
商品及び製品	1,520,078	1,665,639
原材料及び貯蔵品	3,063	4,734
繰延税金資産	13,529	12,044
その他	15,375	22,356
貸倒引当金	△716	△600
流動資産合計	2,130,673	2,340,682
固定資産		
有形固定資産		
貸貸用資産（純額）	85,846	77,807
土地	410,973	410,973
その他（純額）	338,817	392,818
有形固定資産合計	835,637	881,599
無形固定資産合計	14,565	13,736
投資その他の資産		
投資有価証券	119,835	121,138
破産更生債権等	1,189	1,189
繰延税金資産	4,904	4,664
敷金及び保証金	22,449	22,074
その他	24,347	23,882
貸倒引当金	△1,014	△1,014
投資その他の資産合計	171,712	171,935
固定資産合計	1,021,915	1,067,271
資産合計	3,152,589	3,407,953
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	740,784	888,995
短期借入金	1,360,000	1,408,000
1年内返済予定の長期借入金	13,067	1,393
リース債務	40,066	47,684
未払金	122,077	102,863
未払法人税等	27,800	2,599
賞与引当金	1,024	16,170
その他	29,306	113,484
流動負債合計	2,334,128	2,581,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>固定負債</b>		
リース債務	148,294	159,933
長期未払金	3,623	2,216
繰延税金負債	1,407	419
退職給付に係る負債	34,687	30,223
固定負債合計	188,012	192,793
<b>負債合計</b>	<b>2,522,140</b>	<b>2,773,983</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	495,514	502,143
自己株式	△14,481	△14,481
株主資本合計	623,713	630,343
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	6,734	3,627
その他の包括利益累計額合計	6,734	3,627
純資産合計	630,448	633,970
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,152,589</b>	<b>3,407,953</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,169,915	2,090,866
売上原価	1,914,491	1,847,820
売上総利益	255,423	243,045
販売費及び一般管理費	239,077	233,007
営業利益	16,346	10,037
営業外収益		
受取利息	2	28
受取配当金	483	501
受取保険金	1,726	560
保険解約返戻金	623	456
持分法による投資利益	7,110	11,488
その他	7,150	2,611
営業外収益合計	17,097	15,647
営業外費用		
支払利息	3,543	3,302
その他	1,882	197
営業外費用合計	5,425	3,500
経常利益	28,018	22,184
特別利益		
固定資産売却益	-	399
特別利益合計	-	399
特別損失		
役員退職慰労金	-	5,000
特別損失合計	-	5,000
税金等調整前四半期純利益	28,018	17,584
法人税、住民税及び事業税	15,115	2,609
法人税等調整額	△5,656	2,323
法人税等合計	9,459	4,933
四半期純利益	18,558	12,651
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,558	12,651

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	18,558	12,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	560	△3,107
その他の包括利益合計	560	△3,107
四半期包括利益	19,119	9,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,119	9,544
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	28,018	17,584
減価償却費	51,398	65,998
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△64	△115
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,553	15,145
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△611	△4,463
受取利息及び受取配当金	△486	△530
支払利息	3,543	3,302
持分法による投資損益 (△は益)	△7,110	△11,488
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,401	1,320
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△120,037	△154,788
未収入金の増減額 (△は増加)	110	△3,656
仕入債務の増減額 (△は減少)	106,194	148,211
未払金の増減額 (△は減少)	△7,657	△6,098
未払費用の増減額 (△は減少)	546	517
未収消費税等の増減額 (△は増加)	22,325	△6,063
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,372	△14,422
その他	△3,178	1,811
小計	88,514	52,264
利息及び配当金の受取額	486	5,997
利息の支払額	△3,698	△3,227
法人税等の支払額	△3,140	△27,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,163	27,223
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△4	△0
固定資産の取得による支出	△43,447	△61,822
その他の支出	△1,974	△1,688
その他の収入	1,294	2,514
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,132	△60,997
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	48,000
長期借入金の返済による支出	△26,214	△11,674
割賦債務の返済による支出	△1,462	△1,495
リース債務の返済による支出	△12,442	△21,197
配当金の支払額	△6,784	△5,906
財務活動によるキャッシュ・フロー	103,095	7,726
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	141,126	△26,048
現金及び現金同等物の期首残高	217,843	316,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	358,970	290,841

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,769,942	399,972	2,169,915	—	2,169,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	73,638	19,699	93,337	△93,337	—
計	1,843,580	419,671	2,263,252	△93,337	2,169,915
セグメント利益	5,147	11,254	16,402	△56	16,346

(注) 1 セグメント利益の調整額56千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,725,527	365,338	2,090,866	—	2,090,866
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72,795	15,440	88,235	△88,235	—
計	1,798,323	380,778	2,179,101	△88,235	2,090,866
セグメント利益又は損失(△)	13,092	△6,207	6,885	3,152	10,037

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額3,152千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。